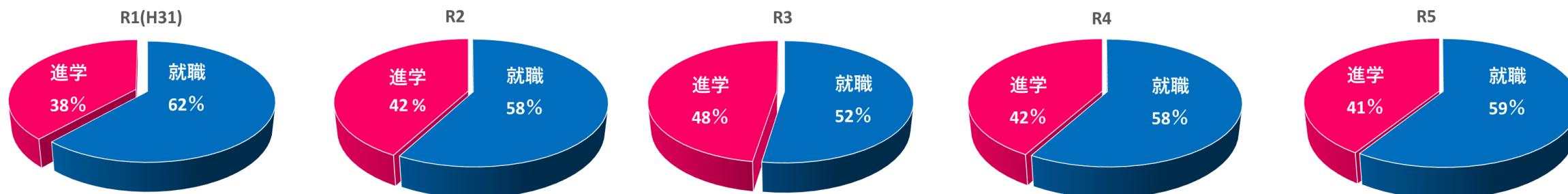


# 材料工学科 卒業後の進路FAQ

## Q：就職と進学とでは、どちらに進む人が多いですか？

令和元年度～令和5年度の就職、進学割合を示します。



材料工学科の卒業生はここ数年、就職者が増加傾向にあるようです。これは進学が難しいためではありません。他高専にはほとんどない、材料工学という専門性を活かした求人が寄せられており、大学卒業後よりも就職しやすいことが理由の一つと理解しています。一方で、高専の中では鈴鹿高専と同様の材料系学科はほとんどありませんが、工学部を有するほぼ全ての国立大学に材料系学科が存在しており、多様な進路を選択できます。

## Q：材料工学科を卒業して、どのような進路に進みますか？

材料工学科のホームページでは、過去の就職、進学先を公開しています。多様な進路がありますので、ぜひ参考にしてください。

## Q：どのような大学に進学できますか？

国公立・私立問わず、幅広い大学へ進学できます。ただし、進学の際には単位互換など気を付ける必要があります。進学の際に学科長や担任の先生と相談し、行きたい大学を探してみてください。過去の進学先を見ると国立大学が多い傾向にありますが、公立や私立の進学もしています。

## Q：どのような学部に進学できますか？

大学進学者は主に材料系、物質系、機械系の工学部や理学部に進学しています。鈴鹿高専で学んだ知識を活かして、数学や物理を専門に学ぶ学部に進学した例もあります。

## Q：女子の就職は難しいですか？

就職のしやすさに男女の違いはありません。女性が働きやすい会社も増えているため、幅広い業種で女子学生も活躍できると思います。もちろん、男子学生も同じです。